

4chデジタルビデオレコーダー 《 OS-R370 》 取扱説明書



この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。お読みになった後は大切に保管して下さい。
製品及び取扱説明書は、機能向上等の為、予告なく仕様及びデザインを変更する場合があります。

最新技術・品質保証のONSEALS
安心という財産をあなたへ……

 **ON SALES Inc.**

目次

安全上のご注意（必ずお守り下さい）	3
使用・設置上のご注意	3
安全上のご注意 警告	3
安全上のご注意 注意	4
使用上のお願い	4
HDD内蔵機器に対する取扱注意事項	4
設置場所の注意	4
ハードディスクと放熱ファンは消耗品です	4
ハードディスクの保護	4
製品仕様	5
前面パネル	6
背面パネル	7
接続のしかた（操作前の準備）	8
各種機能	9
録画内容の再生モード	10
設定（セットアップのしかた）	11
メニュー画面の基本操作	11
ハードディスク情報の表示	11
日時設定	12
表示設定	13
カメラ設定	14
ブザー設定	16
システム設定	16
詳細設定	17
アラーム設定	17
動体検知設定	18
録画設定	19
パスワード設定	21
HDDフォーマット設定	21
工場出荷設定	21
データバックアップ	22
外形寸法図	22
ビューアソフト(Video Viewer)	23
Video Viewerの動作環境	23
Video Viewerのインストールのしかた	23
Video Viewerの起動	24
Video Viewerの終了	24
ビューア画面の構成とはたらき	24
画像を読み込む	25
画像を検索する	25
静止画像をJPEGファイルで保存する	25
画像を動画(AVIファイル)で保存する	26
画像が改ざんされていないか確認する	27
録画時間一覧表	28
故障かな？と思われたとき	29
アフターサービスと保障	30

安全上のご注意（必ずお守り下さい）

●ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。 ●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。	
 禁止	・本体に衝撃を与えないで下さい。本体カバーの割れ、及びケガの原因となります。 ・本体を熱のこもる場所へ設置しない。熱がこもり、火災や本体の変形の原因となります。 ・熱器具の近くへ設置しない。発火、故障の原因となります。 ・直射日光のあたる場所を避けて設置して下さい。 ・水や液体のそばに設置しないで下さい。
 必ず守る	・御使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読み頂き、正しいお取扱をして下さい。 ・お読みになった後は大切に保管して下さい。
	・商品の分解・改造・修理をしないでください。故障の原因となります。

※万一、注意事項に従わず施工された場合の事故や故障などについては責任を負いかねる場合もございます。

【使用・設置上のご注意】

- 落したり強い衝撃や振動を与えないでください。
（故障の原因になります。）
- 定格より寒い場所や暑いところには設置しないでください。
- 直射日光が長時間あたるところや暖房器具の近くには設置しないでください。
- 強い振動や電気雑音の出やすい所は避けて設置してください。
（映像にノイズの出る恐れがあります。）
- 同軸ケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください。
（ノイズの恐れがあります。）

電波障害についてのご注意

テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなど強い電界磁界の近くでお使いになると、影響を受けてノイズが入ったり、映像が曲がったりすることがあります。このような場合にはカメラケーブル専用の薄鋼電線管を設けて通線してください。

お手入れについてのご注意

キャビネットやパネルの汚れは乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると表面の仕上げを傷めたり、表示が消えたりすることがあります。

【安全上のご注意（警告）】

- 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない。
・異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを傷つけない。
・電源コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また電源コードを鋭角に曲げたり、加工したり、ステップルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
・電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。（傷んだ部分を持たない!）
- 内部に異物を入れない
・内部に水などの液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を入れないでください。火災、感電の原因となります。
・万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 不安定な場所に置かない。
・落ちたり倒れたりして、けがや、故障の原因となります。
・万一落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 本機の上に、水の入った容器や小さな金属を置かない!
・こぼれて、本機の内部に入ると、火災や感電につながります。
- 指定（交流100ボルト）以外の電源電圧で使わない!
・電圧値などが異なり、火災や感電につながります。
- 電源プラグが不完全な接続のまま使わない! たこ足配線をしない!
・ショートや発熱により、火災や、感電につながります。
・最後までしっかり正しく接続してください。
- 電源プラグにほこりや金属物を付着させない!
・ほこりや金属物の導電により、火災や感電につながります。
- キャビネットをはずしたり、改造しない!
・内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。内部の点検・調節・修理は、お買い上げ販売店にご依頼ください。

【安全上のご注意（注意）】

- 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところには置かない！
 - ・内部にほこりや水分が入り、火災や感電につながります。
- 本機の通風孔をふさがない！
 - ・次のような使い方はしないでください。
 - ・本機を風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テーブルクロスを掛けたり、絨緞や、布団の上に置く。
- 重いものを置かない！
 - ・バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。
- 電源コードを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ！
 - ・コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電につながります。
- 電源プラグを持つときは、ぬれた手でさわらない！
 - ・水の導電により、感電する恐れがあります。
- お手入れの際、長期間使用しない場合のご注意
 - ・安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

【使用上のお願い】

HDD内蔵機器に対する取扱注意事項

本機はハードディスクドライブ(HDD)を内蔵しています。本機の操作や設置、サービスを行うときは以下の事項に留意し、慎重に取扱ってください。

- 衝撃、振動を与えない
衝撃、振動が加わるとHDDが故障、あるいはHDD内のデータが破損する恐れがあります。
 - ・通電中は本機の移動は行わないでください。ラックなどからの出し入れも必ず電源をOFFした状態で行ってください。
 - ・本機を搬送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。また、搬送は振動の少ない方法で行ってください。
 - ・本機を床などに置くときは、底に指定の足がついている状態で静かに降ろしてください。
- 電源OFF後30秒間は動かさない
・電源OFF後もしばらくはHDDのディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は通電中以上に衝撃、振動に弱い状態です。電源OFF後30秒間は軽い衝撃も与えないように注意してください。
- 結露状態で動作させない
・本機に結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。
急激な温度変化があった場合には、十分に温度が安定するまで待ってから動作させてください。。
- HDDの交換および増設時の注意
・梱包していないHDDは衝撃、振動が加わると故障する恐れがあります。梱包していないHDDはプリント基板面を上にし、水平にしてやわらかいものの上に置くことを推奨します。
・HDDの交換作業でネジの締め付けや取り外す際は、衝撃、振動を与えないように作業してください。ネジの締め付けは緩まないようにしっかりとおこなってください。
・HDDは静電気に弱いので必ず静電対策をおこなって作業をしてください。
・HDDの交換および増設はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- HDD単体の取扱注意
HDD単体を輸送、保管する場合は必ず指定の梱包材料でおこなってください。
また、輸送時はHDDにかかる振動の少ない方法でおこなってください。

設置場所の注意

ハードディスクはほこり、振動、衝撃に弱く、さらに磁気を帯びた物の近い場所での使用を避けてください。記録したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に注意してください。

- ・衝撃を与えないでください。
- ・振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ・録画や再生中は、コンセントを抜いたりしないでください。
- ・急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- ・温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ・常に振動を伴う車・列車などには設置しないでください。
- ・本機には左右面に通気孔がありますので、本機を設置する場合は、塞がないでください。
- ・本棚や箱の中など通気性が悪くなる環境での使用は避けてください。
- ・本機は横置き型です。縦置きで使用すると故障の原因となります。
- ・ラックに設置する場合は、上下5cm以上のスキマをあけてください。

ハードディスクと放熱ファンは消耗品です。

周囲温度25℃の使用条件で、ハードディスクは2年、放熱ファンは3年を目安に交換してください。この年数は、あくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

大切な記録の場合

- ・必ず事前に録画を行い、正常に再生されることを確認してください。
- ・本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合によって録画されなかったり、正常に再生できなくなった場合その補償についてはご容赦ください。
- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は、定期的にバックアップをとることをお勧めします。

ハードディスクの保護

ハードディスクに異常が発見されると、下記の動作をおこないません。ハードディスクを初期化するか画像の保管が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・前面パネルのすべてのボタンが同時に点滅
- ・モニターに「HDD ERROR」を表示
- ・ブザー鳴動
- ・ハードディスク異常出力をだす

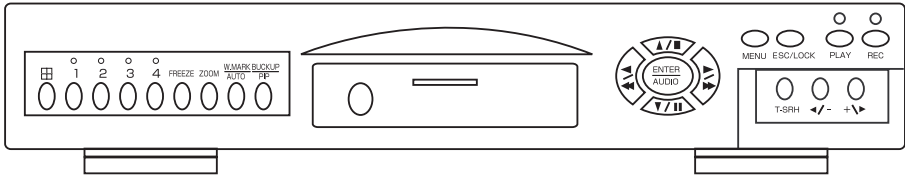
製品仕様

機 能	内 容
操作モード	全面パネル、リモートコントローラ
最高解像度	720×480
記録方式	M-JPEG 圧縮デジタル
最大録画速度	120コマ/秒
音声入出力	1チャンネル (RCA)
映像入力	4チャンネル (BNC)
映像出力	コンポジット信号 (BNC) × 1
映像ループ出力	4チャンネル出力
内蔵HDD	250GB (オプションで最大500GB)
記録画質	5段階(スーパー、ハイ、ファイン、ノーマル、ロー)
ズーム	ズームボタンによる2倍デジタルズーム可
コンパクトフラッシュスロット	コンパクトフラッシュType2×1
アラーム入力	無電圧a/b接点切替式×4 D-sub25ピンコネクター
アラーム出力	無電圧c接点 DC5V 150mA×1
動作保証周囲温度	+5℃～40℃
外形寸法	約430(幅)×72(高)×360(奥)
重量	約5kg
電源供給	AC100V (付属品ACアダプター)
消費電力	最大60W

※付属品

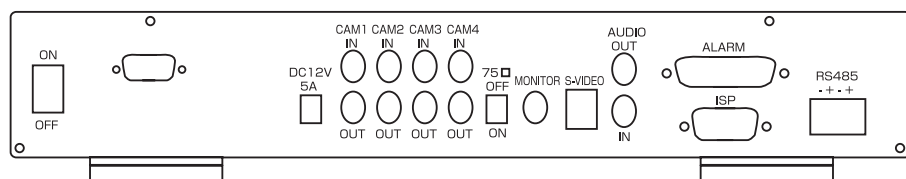
- ・取扱説明書（保証書付）1冊 ……1冊
- ・赤外線リモコン1個 ……1個
- ・ACアダプター ……1個
- ・CD-ROM(Viewerソフト) ……1枚

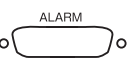
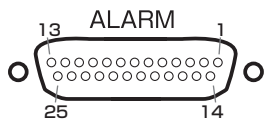
前面パネル



田	4分割画面表示
1	1チャンネルのフル画面表示
2	2チャンネルのフル画面表示
3	3チャンネルのフル画面表示
4	4チャンネルのフル画面表示
FREEZE	ライブ画像を停止
ZOOM	デジタル2倍ズーム
AUTO/W.MARK	オートシーケンス/ウォーターマーク機能
RIP/BACKUP	ピクチャーインピクチャー機能/バックアップ(CFカード)
▲/■	カーソルの移動(上)/再生ストップ
◀/◀◀	再生方向調整(逆再生)
▼/	カーソルの移動(下)/再生一時停止
▶▶/▶	再生方向調整(通常再生)
ENTER/AUDIO	メニュー時『決定』/音声のオン・オフ
MENU	メニュー画面表示/通常画面に戻る
ESC/LOCK	メニュー時『戻る』/キーロック機能
T-SRH	サーチメニュー画面表示
PLAY	再生
REC	録画開始
◀/-	再生スピード調整(-)メニュー時調整(-)
+ \▶	再生スピード調整(+)メニュー時調整(+)

背面パネル



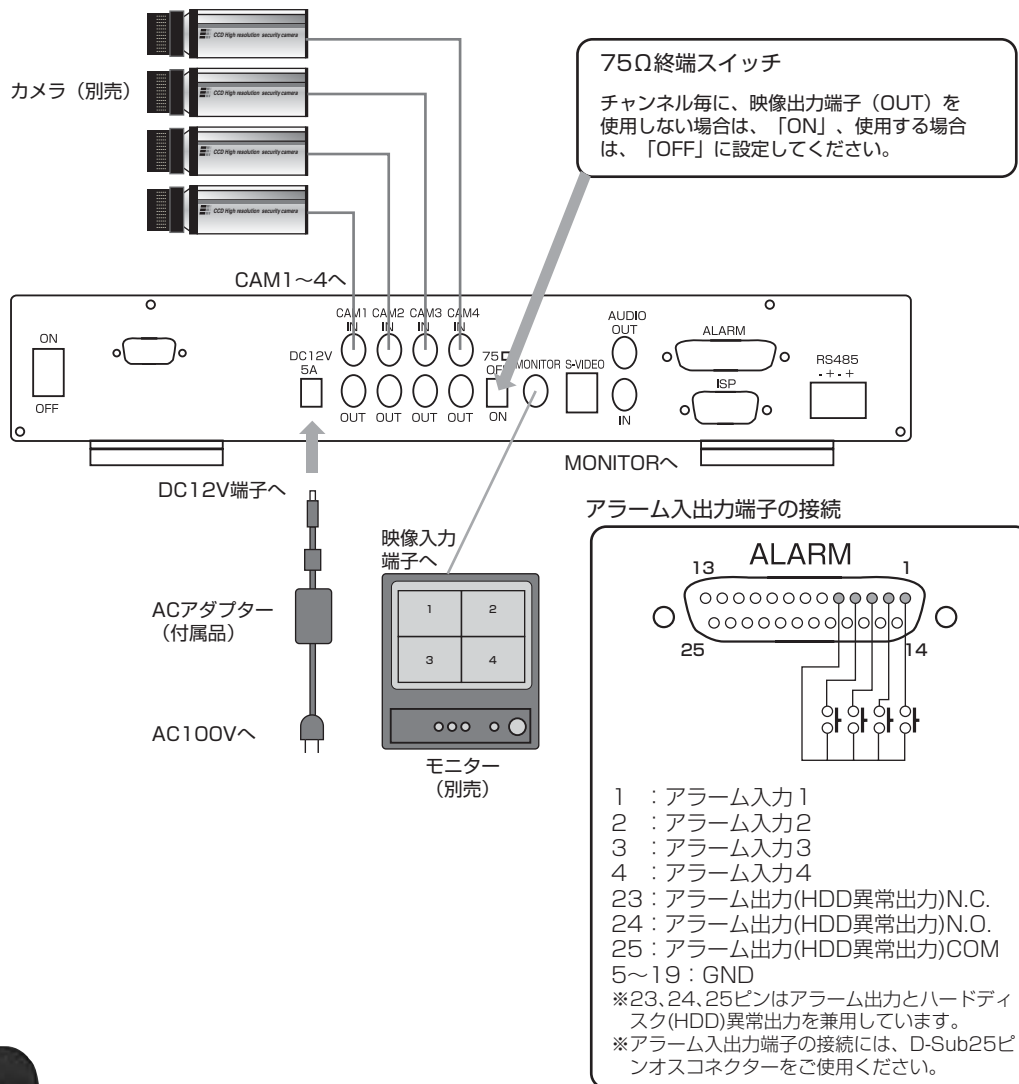
	本体電源のオン・オフ
	付属電源アダプター差込口
	カメラ1～4映像入力
	カメラ1～4映像ループ出力
	音声出力
	音声入力
	モニター出力 (BNC)
	モニター出力 (S端子)
	RS-485コネクター
	RS-232コネクター
	アラーム入出力コネクター (D-Sub25ピンメス)  1 : アラーム入力1 2 : アラーム入力2 3 : アラーム入力3 4 : アラーム入力4 23 : アラーム出力(HDD異常出力)N.C. 24 : アラーム出力(HDD異常出力)N.O. 25 : アラーム出力(HDD異常出力)COM 5～19 : GND ※23、24、25ピンはアラーム出力とハードディスク(HDD)異常出力を兼用しています。

接続の仕方（操作前の準備）

カメラおよび各機器との接続の仕方について説明します。接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

《ご注意》

- ・本機の映像入力端子(IN)、出力端子(OUT)、およびモニター出力端子(MONITOR)には、電圧を加えないでください。
- ・接続を誤ると発煙したり、故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・カメラの電源供給には、別途カメラ電源が必要です。



表示	名称	表示	名称
LOCK	ロックボタン	▶▶/▶	右ボタン
1~0	カメラ選択ボタン(5~9は使用しません)	ENTER	ENTERボタン
FREEZE	フリーズボタン	MENU	メニューボタン
ZOOM	ズームボタン	BKUP	バックアップボタン
田	4画面表示ボタン	◀	設定値変更ボタン
AUTO	カメラ自動切替ボタン	▶	設定値変更ボタン
PIP	ピクチャーインピクチャーボタン	ESC	ESCボタン
SEL	使用しません	T-SRH	画像検索ボタン
▲/■	上/停止ボタン	PLAY	再生ボタン
▼/■	下/一時停止ボタン	REC	録画ボタン
◀/◀◀	左ボタン		

※各ボタンの動きは、本体のボタンと同じです。
《ご注意》リモコンを使用するには別途単4電池(2個)が必要です。

機能各種

1. フリーズ機能

ライブ映像表示中、FREEZEボタンを押すと映像が停止します。
再度FREEZEボタンを押すと通常画面に戻ります。
※フル画面表示中、FREEZEボタンを押すとフル画面表示のまま停止します。

2. ズーム機能

ズーム映像表示中、もしくは再生映像表示中ZOOMボタンを押すとデジタル2倍ズーム表示します。
 ボタンにて位置移動します。

再度ZOOMボタンを押すと通常画面へ戻ります。

3. スイッチャー機能

1. [AUTO] ボタンを押す
画面に  マークが表示され、表示していたカメラから昇順で画面が自動的に切り替わります。

《メモ》
・自動切替えを行う切替時間を設定できます。

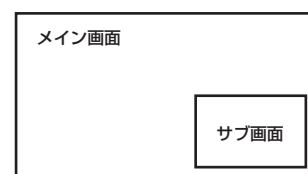
※自動切替中に、再度 [AUTO] ボタンか、[カメラ選択] ボタン、[4画面表示] ボタンを押すと、自動切替を停止します。

《ご注意》
再生画像の自動切替操作はできません。

4. ピクチャーインピクチャー(PIP)機能

1.1 画面中または4画面表示中に [PIP] ボタンを押す

1画面表示(メイン画面)の右下に他のカメラの映像(サブ画面)が表示されます。



ピクチャーインピクチャー表示

《メモ》
・PIP表示中は以下の操作が可能です。



[◀] [▶] ボタン サブ画面の切替え



[▲] [▼] ボタン メイン画面とサブ画面の切替え



[AUTO] ボタン サブ画面のみ自動切替え

※PIP画面表示中に、再度 [PIP] ボタンを押すか、[カメラ選択] ボタン、[4画面表示] ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

《ご注意》
再生画像の PIP表示はできません。

5. キーロック機能

ライブ映像表示中、もしくは再生映像表示中にLOCKボタンを押すとキーロック状態となります。
キーロック中でもFREEZE・AUTO・PIP・ZOOMボタンは通常通り使用可能です。
再度ロックボタンを押し、正しいログインパスワードを入れるとキーロックは解除されます。

デフォルトパスワードはADMIN : 44444 USER : 11111となります。

※使用できる数字は1から4（本体全面のカメラ切替ボタン）です。

6. 音声機能

ライブ映像表示中、もしくは再生映像表示中にAUDIOボタンを押すと表示画面上部に))))表示されます。
表示されると再生時に録音した音声を一緒に再生します。
再度AUDIOボタンを押すと音声の再生を停止します。

※音声の再生は、再生スピード(×1)時のみ有効となります。

6. ウォーターマーク機能

本機は画像の改ざん検出用のコード(ウォーターマーク)を埋め込みながら録画します。画像が改ざんされていないかを確認するには、付属の専用ソフト(Video Viewer)で行います。

再生中に[W.MARK] ボタンを押すと、再生画像に「WTMK」の文字が表示されます。



再度[W.MARK] ボタンを押すと、表示が消えます。

W T M ^N K CAM01	W T M ^N K CAM02
CAM03 W T M ^N K	CAM04 W T M ^N K

録画内容の再生モード

通常再生

PLAYボタンを押すと再生します。

イベントリストサーチ

本機は、RECボタンによる録画、タイマーによる録画、アラーム入力、動体検知、ビデオロスなどのイベントが発生すると、「イベントリスト」というリストが作成されます。イベントリストサーチはこの「イベントリスト」から選んで再生します。

「イベントリスト」はマスター側ハードディスクとスレーブ側ハードディスクごとに作成されます。

1. 録画中または停止中に「T-SRH」ボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示されます。



サーチ

- 1. マスタータイムリスト
- 2. スレーブタイムリスト
- 3. マスターイベントリスト
- 4. スレーブイベントリスト
- 日時指定: 2005/07/16
- 時間指定: 19:22
- 指定時間から再生

2. [▲] [▼] ボタンを押して "3. マスターイベントリスト" または "4. スレーブイベントリスト" を選択し、[ENTER] ボタンを押す

〈イベントリスト〉画面が表示されます。



イベントリスト

▶ 0001	2005/07/13	12:34	---	RECORD
0002	2005/07/13	11:54	-2-	ALARM
0003	2005/07/13	10:31	-3-	ALARM
0004	2005/07/13	09:22	1---	MOTION
0005	2005/07/13	08:04	---	RECORD

- ① イベント番号
0001が最新のイベント
- ② 日付・時刻
イベントが発生した日時を表示
- ③ チャンネル表示
イベントが発生したチャンネル番号を表示
- ④ イベントの種類
RECORD : RECボタンによる録画
タイマー録画による録画
録画停止状態からのアラーム入力、動体検知による録画
ALARM : 録画中のアラーム入力
MOTION : 録画中の動体検知
VLOSS : 録画中のビデオロス

3. [▲] [▼] ボタンを押して、カーソル(▶)を再生したいリストに移動し、[ENTER] ボタンを押す

選択した映像を、4画面表示で再生します。



[カメラ選択] ボタンでみたいカメラ映像を選択してください。

《MEMO》

「-」ボタンで前のページ(前の10件)のリストを表示し、
「+」ボタンで次のページ(次の10件)のリストを表示します。



《ご注意》

- ・イベントリストは、ハードディスク1台あたり4968件まで表示可能です。4968件以上については録画した画像は上書きされるまで残りますが、リストは古いリストから順に上書きされます。
- ・また、イベントリストの画像が上書きされても、リストは残ったままとなります。

日時サーチ

日付と時間を指定して再生します。

1. 録画中または停止中に「T-SRH」ボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示されます。



サーチ

- 1. マスタータイムリスト
- 2. スレーブタイムリスト
- 3. マスターイベントリスト
- 4. スレーブイベントリスト
- 日時指定: 2005/07/16
- 時間指定: 19:22
- 指定時間から再生

2. [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンを押すとカーソルが移動し、[-] または [+] ボタンを押すと設定値を変更できますので、「日付指定」の年、月、日、と「時間指定」の時、分、を設定してください



カーソル移動



設定値の変更

3. [▼] ボタンを押して、カーソル(→)を"指定時間から再生"に移動し、[ENTER] ボタンを押す。

指定した日時の映像を、4画面表示で再生します。



[カメラ選択] ボタンでみたいカメラ映像を選択してください。

設定（セットアップ）の仕方

メニュー画面の基本操作

1. [MENU] ボタンを押す

〈メイン設定〉画面が表示されます。

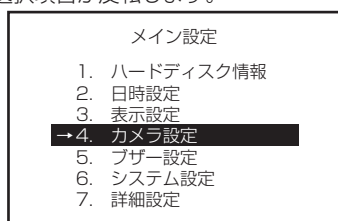


メイン設定からサブメニューへ移動のしかた

2. [▲] [▼] ボタンでメニューを選択する

(例：4.カメラ設定)

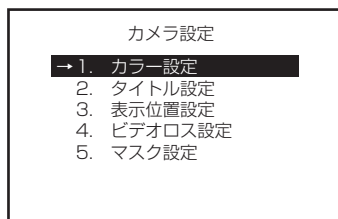
カーソルを移動すると選択項目が反転します。



3. [ENTER] ボタンを押す

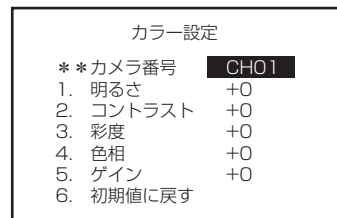
サブメニューが表示されます。

カーソルは最初の設定項目に移動します。



4. [▲] [▼] ボタンでサブメニューを選択し、[ENTER] ボタンを押す (例：1.カメラ設定)

設定画面が表示され、カーソルが最初の項目に移動します



設定値の変更のしかた

2. [-] または [+] ボタンを押す



1つ前のメニューにもどるには
[ESC] ボタンを押してください



メニュー設定の終了のしかた

6. [MENU] ボタンを押す

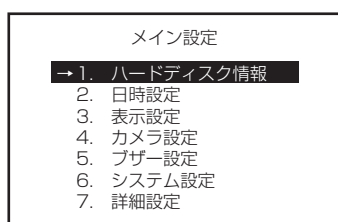
設定が完了し、通常の画面に戻ります



ハードディスク情報の表示

1. 〈メイン設定〉画面の「1.ハードディスク情報」を選択し、[ENTER] ボタンを押す

〈ハードディスク情報〉画面が表示されます。



■ 〈メイン設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを押す



■ 設定を終わるときは、[MENU] ボタンを押す

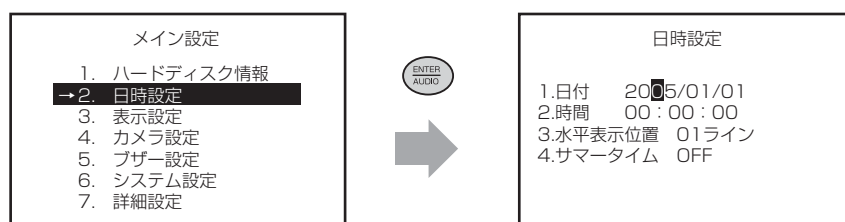


設定（セットアップ）の仕方

項 目	内 容
取付位置	マスター：1 台目のハードディスク スレーブ：2 台目のハードディスク
容量	ハードディスクの容量を表示します。
使用率	ハードディスクの使用率を表示します。 《ご注意》 2周目以降は101～199%で表示します。ただし、ハードディスクを2台搭載している場合は、録画しているハードディスクの使用率を101～199%で表示し、録画していないハードディスクの使用率は100%となります。
メーカー	ハードディスクのメーカーを表示します。
最終時間	ハードディスクの最終録画時刻を表示します。
通電時間	本機の累積通電時間を表示します。

日時設定

1. 〈メイン設定〉画面の「2.日時設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
〈日時設定〉画面が表示されます。



2. [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンで変更したい項目を選択する



3. [-] または [+] ボタンで設定値を変更する



- 〈メイン設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを押す



- 設定を終わるときは、[MENU] ボタンを押す

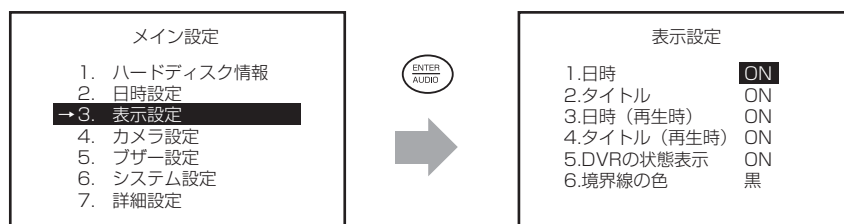


項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
1.日付	2005/01/01	西暦下2桁、月、日を設定します。
2.時間	00:00:00	時、分、秒を設定します。
3.水平表示位置	00ライン～23ライン 01ライン	日付、時間などの表示の位置を設定します。
4.サマータイム	ON/OFF	サマータイムをセットする/しないの設定です。[ON] にすると、4月の第1日曜日に、1:59:59から3:00:00になります。10月の最終月曜日に、1:59:59から1:00:00になります。

設定（セットアップ）の仕方

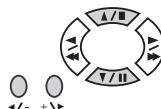
表示設定

1. 〈メイン設定〉画面の「3.表示設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
〈表示設定〉画面が表示されます。



2. [▲] [▼] ボタンで変更したい項目を選択する

3. [-] または [+] ボタンで設定値を変更する



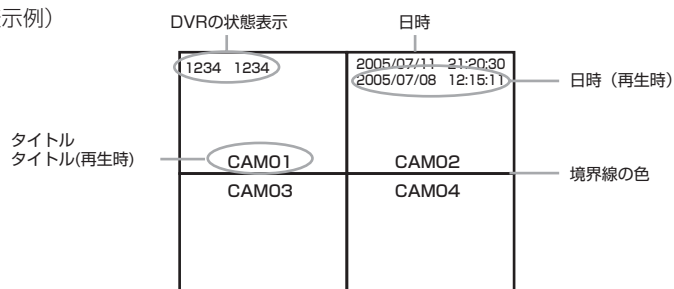
- 〈メイン設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを押す



- 設定を終わるときは、[MENU] ボタンを押す



(表示例)

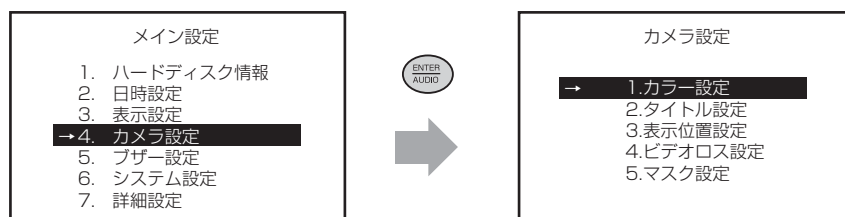


項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
1.日時	ON/OFF	現在の日時を表示します。
2.タイトル	ON/OFF	カメラ映像のときにタイトルを表示します。
3.日時 (再生時)	ON/OFF	再生のときに、録画した日時を表示します
4.タイトル (再生時)	ON/OFF	再生のときに、タイトルを表示します
5.DVRの状態表示	ON/OFF	アラーム動作表示と動体検知表示を表示します。
6.境界線の色	白/黒/暗/灰	4画面表示やピクチャーインピクチャー表示のときのチャンネル間の境界線の色を変えることが出来ます。

設定（セットアップ）の仕方

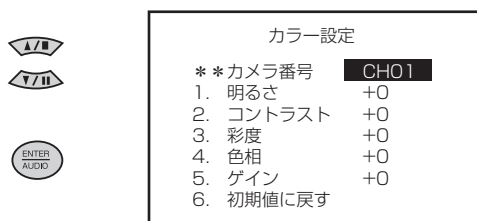
カメラ設定

1. 〈メイン設定〉画面の「4.カメラ設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
〈カメラ設定〉画面が表示されます。



（例：カラー設定）

2. [▲] [▼] ボタンで「1.カラー設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
〈カラー設定〉画面が表示されます。



3. [▲] [▼] ボタンで変更したい項目を選択する

4. [-] または [+] ボタンで設定値を変更する



- 〈カメラ設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを1回押す
〈メイン設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを2回押す



- 設定を終わるときは、[MENU] ボタンを押す



[1.カラー設定]

項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
**カメラ番号	CHO1 /CHO2 /CHO3/CHO4	設定したいカメラを選択します。選択したカメラの映像を表示します。
1.明るさ	-31~ +0 ~+32	映像の明るさを調整します。(カメラ毎に調整できます。)
2.コントラスト	-18~ +0 ~+45	映像のコントラストを調整します。(カメラ毎に調整できます。)
3.彩度	-12~ +0 ~+51	映像の色の濃さを調整します。(カメラ毎に調整できます。)
4.色相	-31~ +0 ~+32	映像の色の色相を調整します。(カメラ毎に調整できます。)
5.ゲイン	-20~ +0 ~+43	映像のゲインを調整します。(カメラ毎に調整できます。)
6.初期値に戻す		上記の設定値を全て初期値に戻します。 (カメラ毎に調整できます。)

[2.タイトル設定]



- [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンで変更したい文字を選択する

- [-] [+] ボタンで文字を変更する



設定（セットアップ）の仕方

項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
1.	CAM01	A～Z、0～9、スペースが設定できます。 (最大18文字)
2.	CAM02	
3.	CAM03	
4.	CAM04	

[3.表示位置設定]

画面の文字が隠れて見えない場合は、画面全体の表示位置を調整して下さい。



■ [▲] [▼] [◀] [▶] ボタン：画面全体の表示位置を上下左右に移動します。



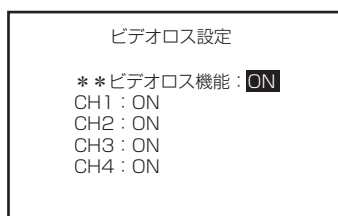
■ [ENTER] ボタン：初期値に設定します。



■ [ESC] ボタン：〈カメラ設定〉画面に戻ります。



[4.ビデオロス設定]



項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
**ビデオロス機能	ON/OFF	映像入力途切れたときに、画面に "VLOSS" を表示する/しないの設定です
CH1	ON/OFF	「ビデオロス機能」の設定がONのときに、カメラ毎に設定することができます。 カメラを接続していないチャンネルはOFFにしてください。
CH2	ON/OFF	
CH3	ON/OFF	
CH4	ON/OFF	

[4.マスク設定]



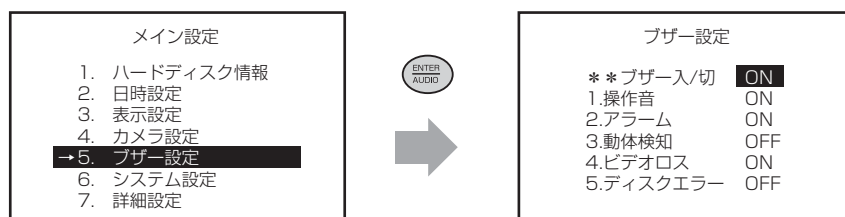
1234 1234	MASK
CAM01	CAM02
CAM03	CAM04
MASK	

項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
CH1	ON/OFF	画面に特定のカメラ映像を表示させたくないときは、ONにするとそのカメラ映像をブルーパターンで覆うことができます。 ただし、再生映像をマスクすることはできません。
CH2	ON/OFF	
CH3	ON/OFF	
CH4	ON/OFF	

設定（セットアップ）の仕方

ブザー設定

1. 〈メイン設定〉画面の「5.ブザー設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
〈ブザー設定〉画面が表示されます。



2. [▲] [▼] ボタンで変更したい項目を選択する

3. [-] または [+] ボタンで設定値を変更する

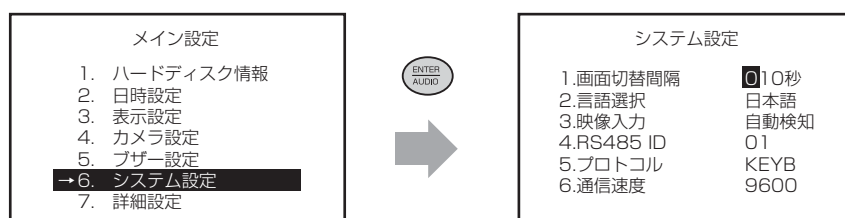
- 〈メイン設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを押す

- 設定を終わるときは、[MENU] ボタンを押す

項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
※ブザー入/切	ON/OFF	ボタンを押したときや、アラーム信号の入力があったときなどにブザーを鳴らす/鳴らさないを設定します。通常はONに設定し、下記の個別の項目ごとにON/OFFを設定してください。
1. 操作音	ON/OFF	ボタン操作のときに、ブザーが鳴ります。
2. アラーム	ON/OFF	アラーム信号の入力があったときに、ブザーが鳴ります。
3. 動体検知	ON/OFF	動体検知が働いたときに、ブザーが鳴ります。
4. ビデオロス	ON/OFF	映像入力が途切れたときに、ブザーが鳴ります。
5. ディスクエラー	ON/OFF	ハードディスクに異常が発生したときに、ブザーが鳴ります。

システム設定

1. 〈メイン設定〉画面の「6.システムー設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
〈システム設定〉画面が表示されます。



2. [▲] [▼] ボタンで変更したい項目を選択する

3. [-] または [+] ボタンで設定値を変更する

- 〈メイン設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを押す

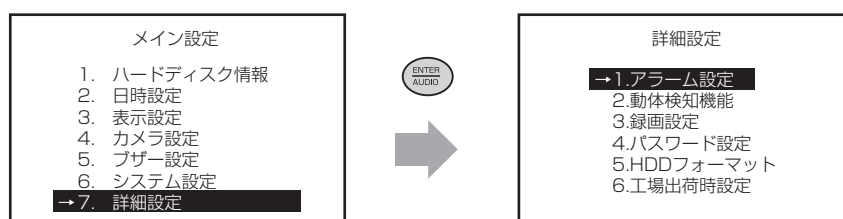
- 設定を終わるときは、[MENU] ボタンを押す

設定（セットアップ）の仕方

項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
1.画面切替間隔	001～010～999秒	カメラの自動切替の間隔を設定します。
2.言語選択	日本語/英語/中国語/ フランス語	メニュー画面の表示言語を設定します。
3.映像入力	自動検知/NTSC/PAL	映像入力の信号方式を設定します。
4.RS485 ID	01～16	RS485端子を使用する場合に、ID番号を設定します。
5.プロトコル	KEYB/LILIN/HSHRP/ HSHRP-D/NICECAM	RS485端子を使用する場合に、制御方式のプロトコルを設定 します。
6.通信速度	9600/4800/2400/1200	RS485端子を使用する場合に、通信速度を設定します。

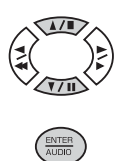
詳細設定

1. 〈メイン設定〉画面の「7.詳細設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
〈詳細設定〉画面が表示されます。



(例：アラーム設定)

2. [▲] [▼] ボタンで「1.アラーム設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
〈アラーム設定〉画面が表示されます。



アラーム設定	
1. アラーム機能	ON
2. 持続時間	010秒
3. アラーム出力設定	
4. アラーム入力設定	

3. [▲] [▼] ボタンで変更したい項目を選択する



4. [-] または [+] ボタンで設定値を変更する



- 〈詳細設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを1回押す
〈メイン設定〉画面に戻るときは、[ESC] ボタンを2回押す



- 設定を終わるときは、[MENU] ボタンを押す



[1.アラーム設定]

【アラーム設定】

項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
1.アラーム機能	ON/OFF	アラーム入力端子を使用する/しないの設定です。
2.持続機能	005～010～999秒	アラーム信号が入ったときのアラーム動作の時間です。 (録画時間、アラーム出力時間、ブザー鳴動時間、アラーム動作表示時間)
3.アラーム出力設定	アラーム出力設定 CH1 : OFF CH2 : OFF CH3 : OFF CH4 : OFF	アラーム信号が入ったとき、または動体検知が働いたときに、アラーム出力を出力する/しないの設定です。各チャンネル毎に設定できます。
CH1	ON/OFF	
CH2	ON/OFF	
CH3	ON/OFF	
CH4	ON/OFF	
4.アラーム入力設定	アラーム入力設定 CH1 : N.O. CH2 : N.O. CH3 : N.O. CH4 : N.O.	接続する機器に合わせて、[N.O.]、[N.C.]、[OFF] を設定します。 [N.O.] : スイッチが常時オープン(切)している状態から、クローズ(入)になったときに動作しています。 [N.C.] : スイッチが常時オープン(入)している状態から、クローズ(切)になったときに動作しています。 [OFF] : アラーム信号を使用しません。
CH1	N.O. / N.C. / OFF	
CH2	N.O. / N.C. / OFF	
CH3	N.O. / N.C. / OFF	
CH4	N.O. / N.C. / OFF	

設定（セットアップ）の仕方

[2. 動体検知設定]

動体検知設定	
** 動体検知機能	OFF
** 持続時間	010秒
** カメラ番号	CH01
1. 感度	+28
2. 速度	+10
3. 動体検知	ON
4. アラーム出力	OFF
5. 検知範囲設定	

項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容								
** 動体検知機能	ON/OFF	動体検知機能を使用する/しないの設定です。								
** 持続時間	005~010~999秒	動体検知が働いたときの動体検知動作の時間です。 (録画時間、アラーム出力時間、ブザー鳴動時間、動作検知表示時間)								
** カメラ番号	CH01/CH02/ CH03/CH04	動体検知を設定したいカメラを選択します。								
1.感度	+1~+28~+32	選択したカメラに対する動体検知の速度を設定します。数値が大きいほど感度が高くなります。(カメラ毎に設定できます。)								
2.速度	+1~+10	選択したカメラに対する動体検知の速度を設定します。数値が大きいほど早い動きの被写体に対して検知できます。 (カメラ毎に設定できます。)								
3.動体検知	ON/OFF	選択したカメラに対する動体検知機能の使用する/しないを設定します。(カメラ毎に設定できます。)								
4.アラーム出力	ON/OFF	選択したカメラの動体検知が働いたときに、アラーム出力を出力する/しないの設定です。(カメラ毎に設定できます。)								
5.検知範囲設定	カーソル 全てのセンサーが "入"	選択したカメラに対する動体検知の検知範囲を設定します。 (カメラ毎に設定できます。) ・ [▲] [▼] [◀] [▶] ボタン：カーソル移動 ・ [4画面表示] ボタン：カーソル機能の変更 押すたびにカーソルの表示が変わります。 ・ [-] ボタン：センサー切 ☐ ・ [+] ボタン：センサー入 ☒ <table><tr><td></td><td>[-] [+] ボタンを押すとカーソル部分のみ変更します。</td></tr><tr><td></td><td>[▲][▼][◀][▶] ボタンを押すと、移動したところが、センサー入になります。</td></tr><tr><td></td><td>[▲][▼][◀][▶] ボタンを押すと、移動したところが、センサー切になります。</td></tr><tr><td></td><td>[-] ボタンを押すと、全てのセンサーが切になります。また、 [+] ボタンを押すと全てのセンサーが入になります。</td></tr></table>		[-] [+] ボタンを押すとカーソル部分のみ変更します。		[▲][▼][◀][▶] ボタンを押すと、移動したところが、センサー入になります。		[▲][▼][◀][▶] ボタンを押すと、移動したところが、センサー切になります。		[-] ボタンを押すと、全てのセンサーが切になります。また、 [+] ボタンを押すと全てのセンサーが入になります。
	[-] [+] ボタンを押すとカーソル部分のみ変更します。									
	[▲][▼][◀][▶] ボタンを押すと、移動したところが、センサー入になります。									
	[▲][▼][◀][▶] ボタンを押すと、移動したところが、センサー切になります。									
	[-] ボタンを押すと、全てのセンサーが切になります。また、 [+] ボタンを押すと全てのセンサーが入になります。									

設定（セットアップ）の仕方

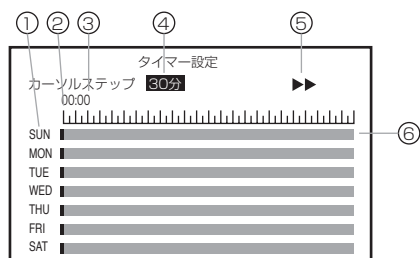
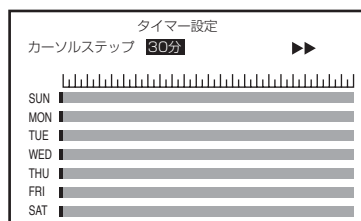
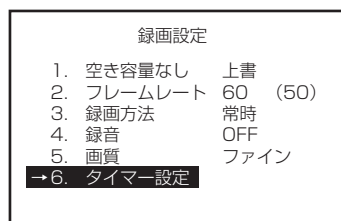
[3.録画設定]

動体検知設定	
1. 空き容量なし	上書
2. フレームレート	録画再開許可
3. 録画方法	60
4. 録音	常時
5. 画質	OFF
6. タイマー設定	ファイン

項 目	設定値	※太字は初期値	内 容
1. 空き容量なし	上書/録画停止		ハードディスクが一杯になったときに、上書き録画をするか、録画を停止するかの設定です。 [上書] : 古い画像から上書き録画を行います。 [録画開始] : 録画が停止し、ブザーが鳴ります。 録画を再開したい場合は、[録画再開許可] にカーソルを移動してから [ENTER] ボタンを押してください。 ※ブザー停止のしかた 停止(■)ボタンを押すとブザーが止まりますが、1分後にまたブザーが鳴ります。ブザーを完全に止めるには、停止ボタンを1秒押して録画開始状態を解除してください。
2. フレームレート	1/30/1/15/1/10/1/5/1/3/1/2/1/2/3/5/10/15/30/60/120 (枚/秒)		録画をするフレームレートです。(枚/秒)
3. 録画方法	常時 タイマー イベント イベント タイマー イベントとタイマー		[REC] ボタンを押すと常時録画します。 [6.タイマー設定] で設定されている時間中録画します。 アラーム入力、または動体検知動作時に録画します。 タイマー設定時間中のみ、アラーム入力(動体検知動作)があると録画します。(通常のタイマー録画は行いません。) タイマー設定時間中と、アラーム入力(動体検知動作)に録画します。
4. 録音	ON/OFF		音声を録音する/しないの設定です。
5. 画質	スーパー ハイ ファイン ノーマル ロー		最高画質 高画質 準高画質 標準画質 低画質
6. タイマー設定			タイマー録画をする時のタイマーを曜日毎に設定できます。

■ タイマー設定のしかた

1. <録画設定> 画面の「6.タイマー設定」を選択し、[ENTER] ボタンを押す
<日時設定> 画面が表示されます。



- ① 曜日
タイマー設定をおこなう曜日を選択します。[▲] [▼] ボタンで選択します。
- ② カーソル
タイマー設定を行うカーソルです。[◀] [▶] ボタンで移動します。
- ③ カーソル位置の時刻
カーソル位置の時刻を表示します。
- ④ カーソルステップ間隔
30分間隔が6分間隔の設定ができます。[-] または [+] ボタンで変更します。
- ⑤ カーソルモード
▶▶ : カーソルの移動だけで設定は行いません。(++:録画します。--:録画しません。)
- ⑥ タイマー設定表示
録画する時間帯を緑色のバーで表示します。

設定（セットアップ）の仕方

（例：日曜日の9:00～18:00まで録画する）

2. [▲] [▼] ボタンで [SUN] を選択する

カーソルステップ 30分



3. [4画面分割] ボタンを押して、カーソルモードを「--」に変更する

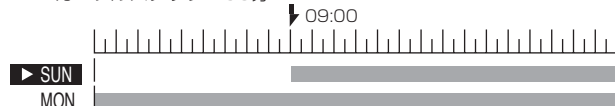
カーソルステップ 30分



4. [▶] ボタンを押して、カーソルを09:00に移動する

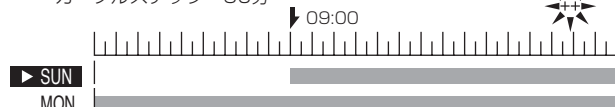
00:00～09:00の時間が録画しない設定になります。

カーソルステップ 30分



5. [4画面表示] ボタンを押して、カーソルモードを「++」に変更する

カーソルステップ 30分



6. [▶] ボタンを押して、カーソルを18:00に移動する

カーソルステップ 30分



7. [4画面表示] ボタンを押して、カーソルモードを「--」に変更する

カーソルステップ 30分



8. [▶] ボタンを押して、カーソルを00:00に移動する

09:00～18:00の時間が録画時間となり、緑色で表示されます。

カーソルステップ 30分



9. 手順2～8と同じ要領で、月曜(MON)～土曜(SAT)を録画しない時間に設定する

設定（セットアップ）の仕方

[4.パスワード設定]

パスワード設定

1.レベル： 無し

2.管理者： 44444

3.一般： 11111

項 目	設定値 ※太字は初期値	内 容
1.レベル	無し	全てのボタン操作が可能です。
	一般	[MENU] ボタンのみロックされます。  一般用パスワードを入力すると、〈詳細設定〉以外の設定変更ができます。 管理者用パスワードを入力すると、全ての設定変更ができます。
	管理者	[MENU] ボタンのみロックされます。  一般用パスワードではメニュー画面を表示できません。 管理者用パスワードを入力すると、全ての設定変更ができます。
2.管理者	44444	管理者用パスワード。〔カメラ選択〕ボタンで設定します。 1234 0000
3.一般	11111	一般用パスワード。〔カメラ選択〕ボタンで設定します。

[5.HDDフォーマット設定]

※※HDDフォーマット警告※※

HDD内の全てのデータが
消去されます！！

ENTER：フォーマット
ESC：キャンセル

項 目	内 容
1.ENTER	[ENTER] ボタンを押すと、ハードディスクを初期化(フォーマット)します。
2.ESC	[ESC] ボタンを押すと、〈詳細設定〉画面に戻ります。

[6.工場出荷時設定]

※※設定初期化警告※※

全ての設定が消去されて
工場出荷時の値に初期化
されます。

ENTER：初期化
ESC：キャンセル

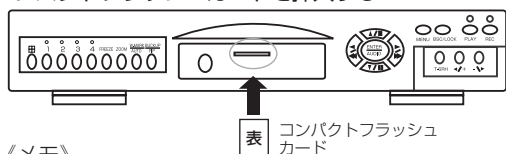
項 目	内 容
1.ENTER	[ENTER] ボタンを押すと、全てのメニュー設定の設定内容を工場出荷時の値に初期化します。
2.ESC	[ESC] ボタンを押すと、〈詳細設定〉画面に戻ります。

データバックアップ

録画した画像のコピーの仕方

ハードディスクに録画した画像の中から、大切な画像をコンパクトフラッシュカード（CF）へコピーすることができます。

1. コンパクトフラッシュカードを挿入する



《メモ》

- ・32MB～512MBまでのバッファロー製コンパクトフラッシュカードが使用できます。

《ご注意》

- ・66倍速以上のコンパクトフラッシュとマイクロドライブは使用できません。

2. 画像を再生し、コピーしたい場で【一時停止】ボタンを押す 静止画像にします。



3. [BACKUP] ボタンを押す 〈バックアップ警告〉画面が表示されます。

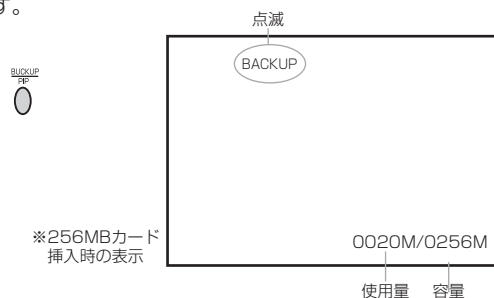


****バックアップ警告****
CFカード内の全てのデータ
が消去されます
ENTER：スタート
BACKUP：戻る

4. [ENTER] ボタンを押す

コンパクトフラッシュカードのフォーマット後、コピーが開始されます。画面に映っている画像がコピーされています。

コピー中は、画面に"BACKUP"が点滅表示し、また右下にコンパクトフラッシュカードの容量と使用量が表示されます。



《ご注意》

- 1画面表示していても、自動的に全てのカメラ画像がコピーされます。

5. [BACKUP] ボタンを押すと、コピーが終了します

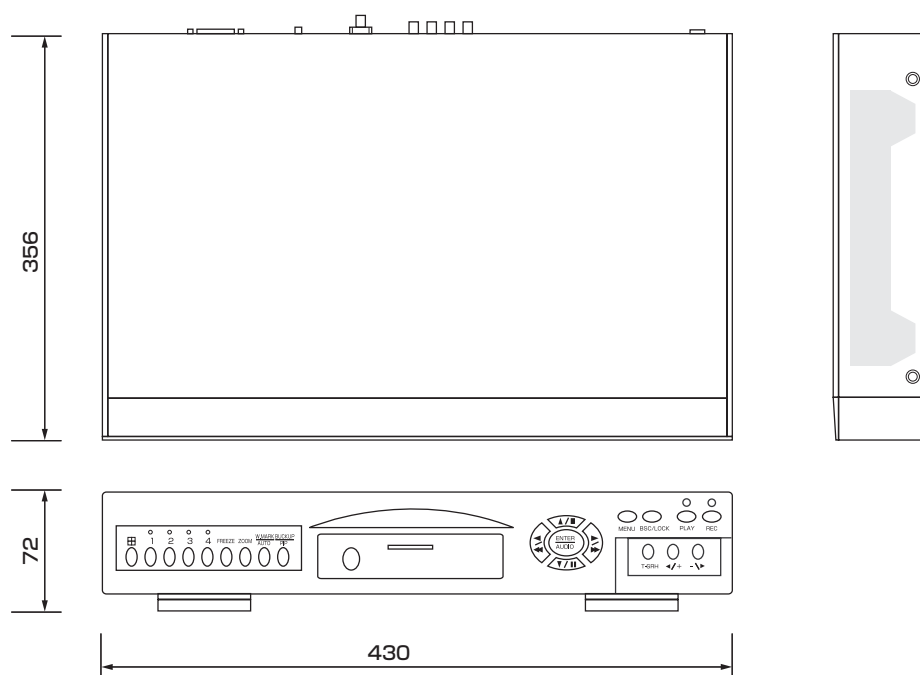
《ご注意》

- コピー中にコンパクトフラッシュカードが一杯になると「カード空き容量なし」と表示され、コピーが終了します。

コピーした画像をパソコンで見る

コンパクトフラッシュカードにコピーした画像は、付属(CD-ROM)の専用ソフト(VideoViewer)でみることができます。

外形寸法図（単位：mm）



ビューアーソフト (Video Viewer : CFカードデータ読み込みソフト)

Video Viewerはコンパクトフラッシュカード（以下CF）にバックアップした画像を再生するための専用アプリケーションソフトです。
PCにインストールしてお使いください。

動作環境

Video Viewerは次の動作環境でご使用いただけます。

- ・対応OS : Windows 98 SE、Me、2000、XP
- ・対応機種 : 上記のOSが稼働し且つ、Acrobat Reader 6.0.2がインストールされているIBM PC/ATと、その互換機

《ご注意》 Acrobat Reader 6.0.2以外のバージョンでは正しく動作しない場合があります。

・推奨スペック

CPU : Pentium III 500MHz以上
RAM : 128MB以上

インストールのしかた

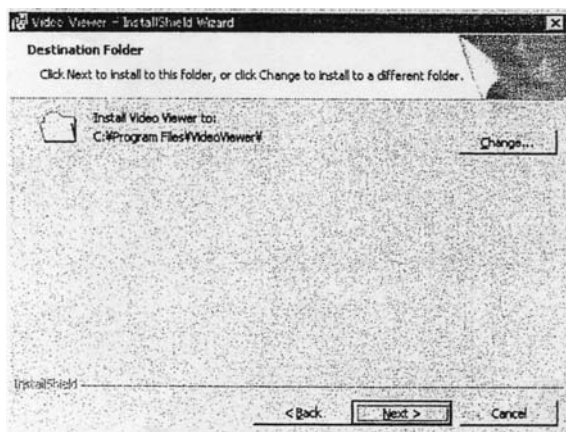
1. インストーラーを起動する

インストーラーは付属CD-ROMの [English] フォルダ内にあります。アイコンをダブルクリックすると、インストーラーが起動します。



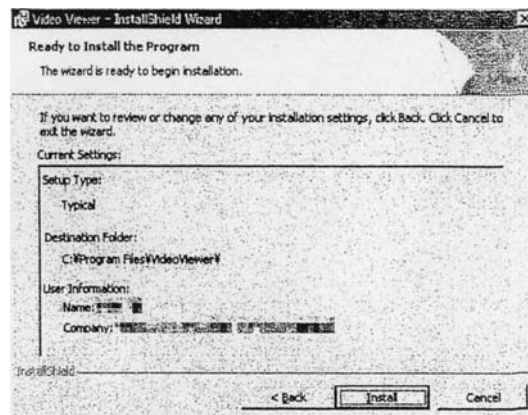
2. インストーラー先を指定する

〈Welcome to the InstallShield Wizard for Video Viewer〉画面で [Next] をクリックすると、〈Destination Folder〉画面が表示されます。インストール先のフォルダを確認して [Next] をクリックしてください。インストール先を変更する場合は、[Change...] をクリックしてフォルダ指定してください。



3. インストールの開始

〈Ready to Install the Program〉画面で設定内容を確認して [Install] をクリックすると、インストールを開始します。



4. インストールの終了

〈InstallShield Wizard Completed〉画面が表示されますので [Finish] をクリックします。インストール作業を終了し、スタートメニューの「プログラム」に "Video Viewer"が表示され、またデスクトップにショートカットアイコンが表示されます。



●Video Viewer のアンインストール

Video Viewer をアンインストール（削除）する場合は、「全てのプログラム」の「Video Viewer」フォルダで「Uninstall Video Viewer」をクリックしてください。



ビューアーソフト (Video Viewer : CFカードデータ読み込みソフト)

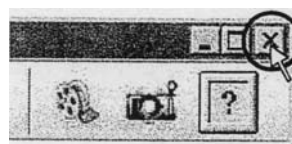
Video Viwer の起動

1. デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックする。

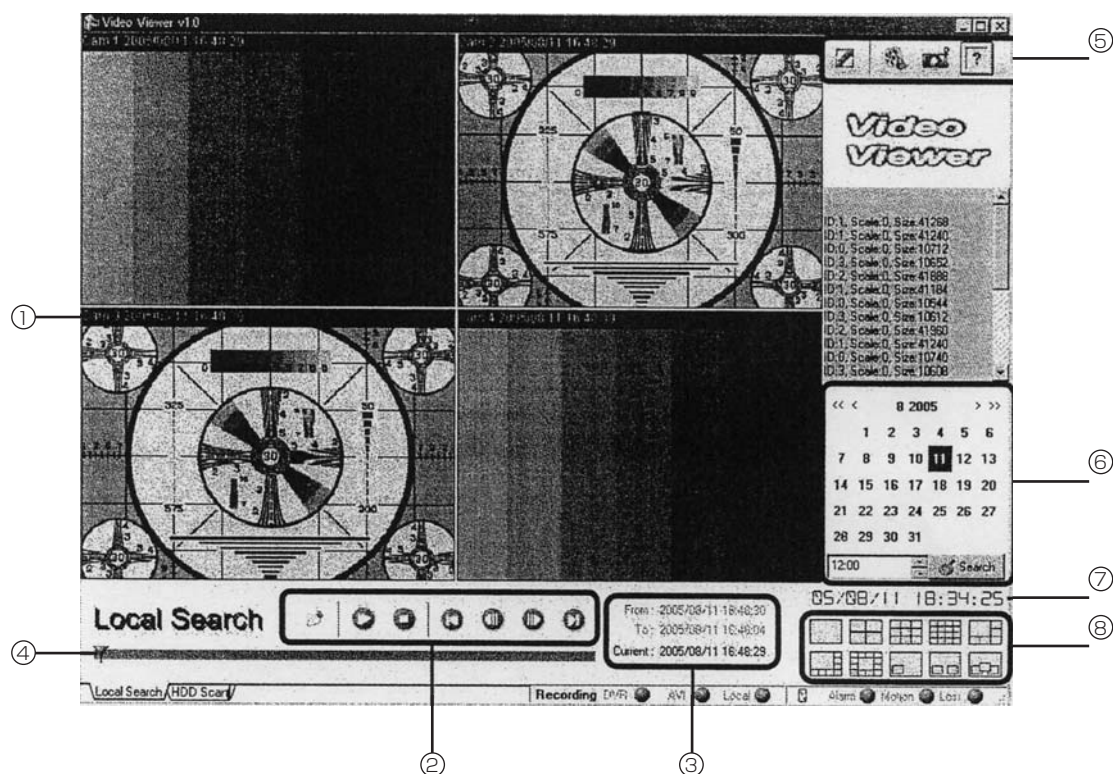


Video Viwer の終了

1. 画面右上の閉じるボタンを押す。



ビューアー画面の構成とはたらき



① 画像表示部

再生画像が表示されます。
各画像をダブルクリックすると、1画面表示できます。

② 操作パネル

画像の読み込み（開く）、再生、停止、先頭画像を表示、コマ戻し、コマ送り、最後の画像を表示、等の操作ができます。

③ 画像の日時情報

From : CFに記録されている先頭の画像の日時
To : CFに記録されている最後の画像の日時
Current : 画像表示部に表示されている画像の日時

④ 再生バー

再生位置をバーで表示します。

⑤ ツールバー

各種設定がプルダウンメニューで表示されます。

⑥ サーチパネル

日時を設定して、画像を検索することができます。

⑦ 現在の日時

⑧ 分割表示パネル

各ボタンをクリックすると、ボタン通りの分割表示ができます。

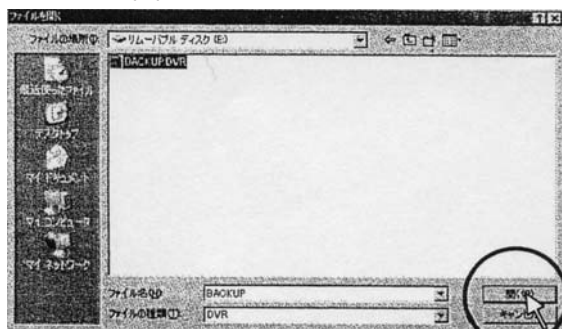
ビューアソフト (Video Viewer : CFカードデータ読み込みソフト)

画像を読み込む

1. 操作パネルの「開く」アイコンをクリックする。



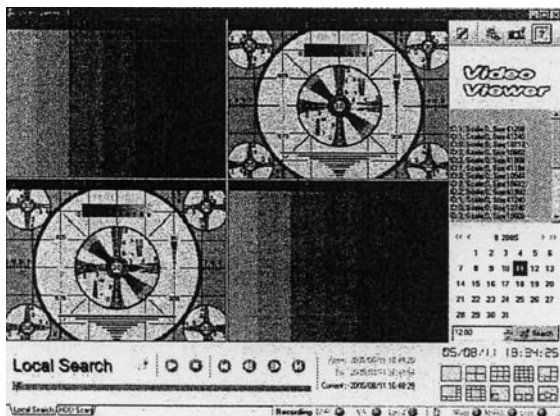
2. バックアップファイル (BACKUP.DVR) を指定して「開く(O)」をクリックする。



画像の読み込みが開始されます。



画像の読み込みが終了すると、画像が表示されます。



画像を再生する

画像の再生は操作パネルで行います。



再生 停止 先頭の
画像を
表示 コマ
戻し コマ
送り 最後の
画像を
表示

画像を検索する

1. サーチパネルで検索したい画像の日付と時刻を設定する。

■日付の設定のしかた

カレンダーの日付をクリックする



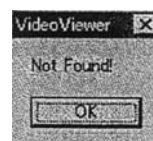
■時刻の設定のしかた

時刻を設定する場合は、時をクリック、分を設定する場合には、分をクリックしてからキー入力あるいは上下ボタンをクリックする。

2. 「Search」をクリックする

画像が表示されます。

※設定した日時の画像ない場合は「Not Found!」が表示されます。

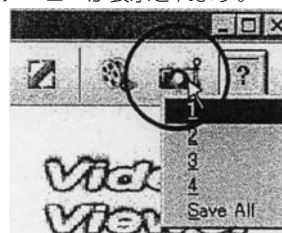


静止画像を JPEG ファイルで保存する

1. JPEG保存したい画像を表示する

2. ツールバーの「JPEG 保存」アイコンをクリックする

プルダウンメニューが表示されます。



3. プルダウンメニューで JPEG 保存したい画像のチャンネル番号をクリックする。

ビューアソフト (Video Viewer : CFカードデータ読み込みソフト)

4. ファイル名と保存する場所を入力して [保存(s)] をクリックする

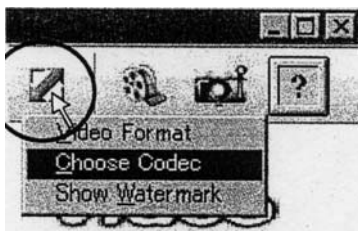


画像を動画 (AVIファイル) で保存する

1. 画像を再生し、保存したい場面で [停止] をクリックする。



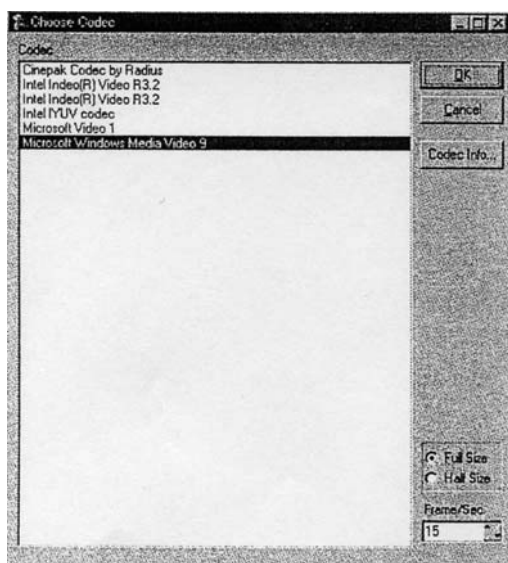
2. ツールバーの [オプション] アイコンをクリックし、プルダウンメニューの「Choose Codec」を選択してクリックする。



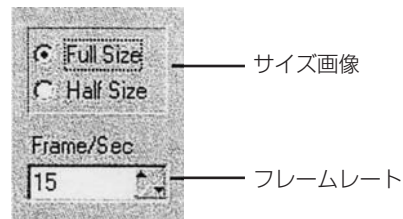
3. Codecを選択する

通常は「Microsoft Windows Media Video 9」を選択します。リストはお使いのパソコンにインストールされているCodecを表示しています。
「Microsoft Windows Media Video 9」がない場合は、下記のホームページからダウンロードしてください。

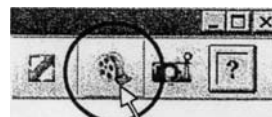
<http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/9series/codecs/vcm.aspx>



4. 画像サイズとフレームレートを設定し [OK] をクリックする



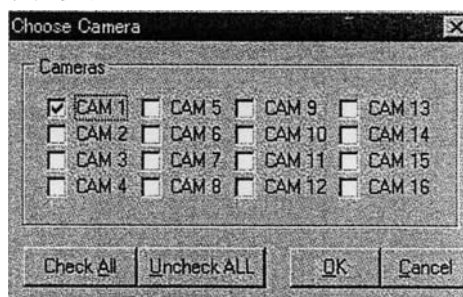
5. ツールバーの [AVI 保存] アイコンをクリックする



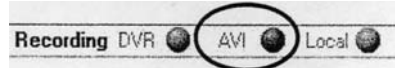
6. ファイル名と保存する場所を入力して [保存(s)] をクリックする



7. AVI保存したいチャンネルを選択し [OK] をクリックする



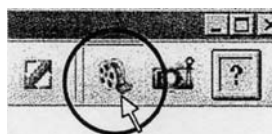
画面下部のRecording のAVI が緑から赤に変わります。



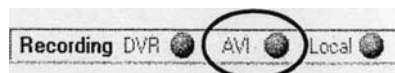
8. 保存したい場面を再生する

保存したい場面の再生が終わったら再生を停止してください

9. ツールバーの [AVI 保存] アイコンをクリックする



画面下部のRecording のAVI が赤から緑に変わります。

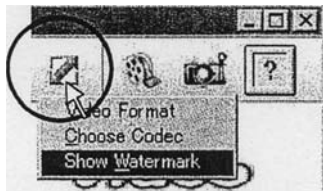


ビューアソフト (Video Viewer : CFカードデータ読み込みソフト)

画像が改ざんされていないか確認する

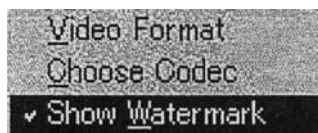
本機は画像の改ざん検出用のコード(ウォーターマーク)を埋め込みながら録画します。画像が改ざんされていないかを確認するには、本専用ソフト(Video Viewer)でおこないます。

1. ツールバーの「オプション」アイコンをクリックする。



2. プルダウンメニューの「Show Watermark」を選択してクリックする

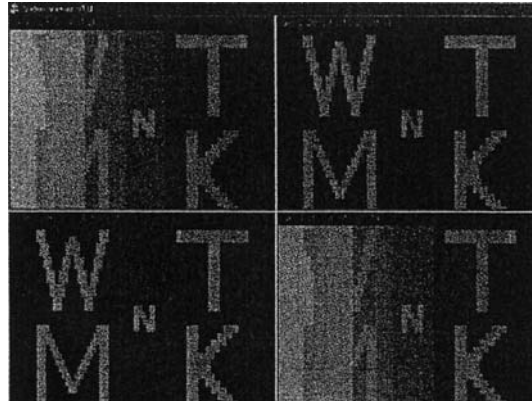
「Show Watermark」の左に が表示されます。



3. 画像を再生する

画像が改ざんされていない場合には、下図のように画像の上に「WTMK」の文字が表示されます。

画像が改ざんされている場合は、「WTMK」の文字が欠けるか、あるいは表示されません。



録画時間一覧表（HDD250GB / CF-CARD512MB）

録画時間目安表（HDD250GBの場合）

単位：時間

フレーム 画質 (コマ数)	120	60	30	15	10	5	3	2
Low	65	65	130	260	400	785	1308	1960
Normal	56	56	111	222	334	666	1110	1666
Fine	50	50	100	200	304	608	1010	1516
High	46	46	92	184	280	556	926	1390
Super	34	34	70	140	210	420	695	1040

フレーム 画質 (コマ数)	1	1/2	1/3	1/5	1/10	1/15	1/30
Low	3925	7845	13080	19600	39216	78432	130720
Normal	3335	6666	11115	16666	33334	55556	111111
Fine	3030	6060	10100	15155	30310	50510	100000
High	2780	5560	9260	13888	27776	46300	92600
Super	2085	4170	6945	10420	20840	34725	69450

- ※上記フレーム（秒間コマ数）は1ch(カメラ1台)時の場合です。
- ※表はハードディスクの領域設定を100%とした状態の目安の時間表です。
- ※500GBのハードディスクで録画した場合の録画時間は、上記の2倍の値となります。
- ※映像の複雑さ、音声の有無により、録画可能時間は多少変化します。

録画時間目安表（CF CARD512MBの場合）

単位：分

フレーム 画質 (コマ数)	120	60	30	15	10	5	3	2
Low	8	8	15	31	48	94	157	235
Normal	7	7	13	26	40	80	133	200
Fine	6	6	12	24	36	73	121	182
High	5	5	11	22	33	66	111	167
Super	4	4	8	16	25	50	83	124

フレーム 画質 (コマ数)	1	1/2	1/3	1/5	1/10	1/15	1/30
Low	471	942	1570	2352	3950	9412	15687
Normal	400	800	1333	2000	4000	6667	13334
Fine	364	727	1212	1818	3638	6062	12000
High	333	666	1111	1666	3334	5556	11112
Super	250	500	833	1250	2500	4167	8334

- ※上記フレーム（秒間コマ数）は1ch(カメラ1台)時の場合です。
- ※表はCF CARDの領域設定を100%とした状態の目安の時間表です。
- ※映像の複雑さ、音声の有無により、録画可能時間は多少変化します。

故障かな？と思われたとき

症状	症状	処置のしかた
電源が入らない	ACアダプターがはずれている	ACアダプターの接続を正しく接続する
	電源スイッチが入っていない	後面パネルの電源スイッチを入れる
モニターに映像が出ない	接続が間違っている	正しく接続する
	周辺機器やモニターの電源が入っていない。	電源を入れる
	マスク設定が「ON」になっている。	マスク設定を「OFF」にする。
操作ボタンを押しても動作しない	結露(露つき)が発生している	水滴を取り除く
	キーロックをしている	キーロックを解除する
録画が出来ない	ハードディスクが一杯になっている。	データの保存が必要な場合は、コンパクトフラッシュにコピーしてから、録画再生許可をおこなう
	全面パネルのランプがすべて点滅している	お買い上げの販売店にご連絡ください
タイマー録画が出来ない	日付・時刻が間違っている	日付・時刻を正しく設定する
	タイマー録画待機状態になっていない	RECボタンを押してタイマー録画待機状態にする
	録画方法の設定が「タイマー」になっていない	録画方法の設定を「タイマー」にする
アラーム録画が出来ない	イベント録画待機状態になっていない	RECボタンを押してイベント録画待機状態にする
	録画方法の設定が「イベント」になっていない	録画方法の設定を「イベント」にする
	アラーム機能の設定が「OFF」になっている	アラーム機能の設定を「ON」にする
HDD FULL時のブザーが停止できない	「**ブザー入/切」の設定が「OFF」になっている	「**ブザー入/切」の設定を「ON」にする

■定期・点検保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げの販売店（または工事店）にご相談ください。

■電源が遮断した場合

録画周期や時刻が変化することがあります。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰すると再び録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなった場合は、次の手順で確認してください。

- 1.電源を入/切する。
- 2.動作確認をする。

アフターサービスと保証

本機が正常に動作しないときは「使用上の注意」、「故障かな?と思われるとき」をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

修理のアフターサービスをお申し付け頂くときは、次のことを必ずお知らせください。

- 品番―「OS-R370」
- 症状―「現状の状況」を出来る限り詳しくお知らせください。

保証期間内に、万一故障や不具合が発生した場合には、
保証書の記載内容に基づき、**お買い上げ日から1年間無料修理致します。**

修理依頼される際は製品と必要事項を記入した本書を揃えて販売店までご相談ください

■保証書■

商品名：OS-R370

S/N：

保証期間：お買い上げ日より1年間 お買い上げ日 年 月 日

■お客様■	■販売店■
ご住所	
お名前	
お電話	

【故障・修理内容】

- (1) 正常な使用状態で故障し製品保証期間内である場合のみ、お買い上げ店、販売元が無料修理致します。
 - (2) 保証期間内に無料修理を受けるには、商品と本書を御持参（又は送付）の上、お買い上げ店へご依頼下さい。
 - (3) 保証期間内でも、次の場合は有料にさせていただきます。
 - 1.保証書・商品添付の製品番号が無い場合
 - 2.保証書に、お名前、お買い上げ店及び日付が記載されていない場合
 - 3.特殊な環境下での故障。消耗品に対する補償。
 - 4.お買い上げ後の取扱いの誤りや他製品（外部要因）による故障、製品の自己修理、改造が加えられた場合
 - 5.お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - 6.火災、地震、風水害、落雷等の天災や公害、虫害、ガス害・異常電圧・指定外の使用電源による故障
 - 7.各部の点検・保守費用。また、営業上の損失や記録内容等のソフト内容の補償は致しかねます。
- ※本製品の故障による二次的損害についてはその責務を負わないものとします。



この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、販売店へお問い合わせください。